

壁紙全点共通の注意事項

選択上の注意

- 素材壁紙、及び一部のビニル壁紙は施工難度が高いため、施工費が割増しになる場合があります。
- 素材壁紙は特性上、付着した水分による変色・変質が生じるおそれがあるため、水廻りなどの使用はおすすめしません。
- 素材壁紙は特性上、商品の色に差が生じることがあります。

施工時

- 下地は平滑にし変色を避けるため、シーラー処理は必ず行ってください。特にコンクリートや合板下地の場合、水やアクを防ぐためシーラー処理は重要です。
- パテは下地材と同色のものを使用してください。厚みが薄い商品や色の白い商品には特に注意が必要です。
- 石膏ボード表面層を切り込まないよう下敷きテープを使用してください。切り込みは目スキの原因となります。
- 施工中、施工後とも、冷暖房などによる急激な乾燥は避けてください。目スキの原因となります。
- 折りジワについて注意文がある商品は、取り扱いに注意が必要です。折りジワが付くと修復出来ない場合もあります。詳しくは、見本帳P.75「折りジワについて」をご確認ください。
- オープンタイムは温度や湿度に影響を受けますので、現場環境に合わせて調節してください。
- 3巾施工以降のクレームはお受け出来ない場合があります。

施工後

- 直射日光が当たると、紫外線により色褪せがしやすくなります。カーテンなどで直射日光を避けるよう心掛けてください。

和紙・紙 共通の注意事項

選択上の注意

- 素材の特性上、ジョイント部に色差や風合い差が生じることがあります。
- 水が直接かかる場所への使用は避けてください。
- 強い摩擦や湿気を含むものでの擦れや長時間の接触は、色落ちまたは色移りの原因となりますので十分にご注意ください。

施工時

- 糊は濃いめに、塗布量は多めにして相剥ぎを防いでください。
- 表面に糊が付着しないようご注意ください。表面に糊が付着した場合は、固く絞ったスポンジで軽く拭き取ってください。
- 糊付け後は折りジワが付かないように大きなたたみ、重ね置きはしないでください。
- オープンタイムは10分が目安です。長時間おくと相剥ぎや目スキの原因となります。
- 撫で付けは柔らかい刷毛を使用してください。金ベラや硬いローラーは使用しないでください。壁紙表面の毛羽立ちや色落ちの原因になります。
- 鋭い薄刃のカッターを使用してください。
- カッターの刃は15～20°の角度を保ってカットすると、繊維が毛羽立たず比較的きれいに仕上がります。
- フリージョイントの和紙壁紙は、目スキが気になる場合3mm程度の重ね張りをおすすめします。
- 粘着テープの使用は避けてください。

施工後

- 張り替え等で剥がす際は、表面にたっぷりと水打ちをして裏打ち紙にまで湿り気を与える、または剥がし剤を使用すると比較的剥がしやすくなります。